



# 岩手大学大学院 地域創生専攻 防災・まちづくりプログラムに

## 社会人1年制コース

### が設置されました！

この度、防災・まちづくりプログラムでは、自治体や企業、NPO法人等で働く社会人のため、1年制のコースを設置いたしました。

一年間の集中した学びで修士号を取得できるコースです。

#### 防災・まちづくりプログラムの特徴

岩手大学大学院地域創生専攻・地域・コミュニティデザインコースに置かれている「防災・まちづくりプログラム」は、岩手大学において取り組んできた東日本大震災からの復興に関する実践知に基づき、今後起こり得る災害からの地域再生・創生に必要な知識、経験、手法について習得できる文理融合型の教育研究プログラムです。

社会、政策、教育等に関することから、自然現象や防災技術等に関することまで、防災・まちづくりに関する分野を広く学び、研究することができます。修士(学術)または修士(工学)のいずれかの修士号を取得できます。

#### 研究指導体制及び修了要件について

主任指導教員と副指導教員2名(1名は異分野の教員)による複数指導体制を実施しています。また、学位を取得するためには、1年間在学し、授業科目について32単位以上を修得、必要な研究指導を受けたうえで、修士論文の審査及び試験に合格する必要があります。

#### スタッフ一覧

教授	井良 沢道也	環境防災学、砂防学、緑化学
教授	越谷 信	構造地質学
教授	五味 壮平	情報学、情報デザイン
教授	福留 邦洋	応用地理学、都市・地域計画
教授	松岡 勝実	災害政策、関連法制度論
教授	南 正昭	都市・交通計画学
教授	麥倉 哲	社会学、地域社会学
准教授	小笠原敏記	沿岸工学
准教授	三宅 諭	都市・地域計画、まちづくり
准教授	山本 英和	地震防災工学
准教授	石松 弘幸	政治理論、社会学、多文化社会論

(兼任)  
協力スタッフ：越野修三、山崎友子、廣田純一、山本清龍

## ■科目紹介

### グローバルコミュニケーション(必修)

地域創生に関わる諸問題をグローバルな視点から考える態度・能力を育成する目的で、国外の人々とコミュニケーションをとる能力を修得することを目標とします。内容は、地域創生に関わる特定の問題をテーマとして設定し、国外の人々とコミュニケーションをとる実地体験に取り組みます。実地体験の例としては、国際研究集会での研究発表、教員が実施する国外視察に同行、国内で開催される外国人研修への参加などが考えられます。

### 地域インターンシップ(選択必修)

岩手大学内外の地域で行うインターンシップで、研修先の業務を通して課題発見力・課題設定力の獲得、業界の取り組みの理解、自らの専門分野と地域課題との関連性、産官学連携のあり方について体験的に理解します。単位数は、1週間で1単位、2週間で2単位となります。2単位の場合、2週間にわたる長期研修により地域課題の発見を深め、複数箇所での研修を通じて複眼的横断的視点から地域課題へアプローチすることになります。

## ■科目一覧

### 学際系科目

主として社会、政策、教育等の  
防災・まちづくりに関する内容を扱う科目

地域計画特論、地域社会特論、ソーシャルデザイン特論  
災害復興論、公共政策特論、災害教育文化特論  
観光まちづくり特論、災害危機管理特論、地域経済論特論

### 工学系科目

主として自然現象や防災技術等の  
防災・まちづくりに関する内容を扱う科目

防災・復興計画特論、景観まちづくり特論、砂防学特論  
地圏防災特論、水域防災特論、地震・火山防災特論

### フィールドワークを取り入れた実践的な授業も

「ソーシャルデザイン特論」では休日に合宿形式で先生と受講生とで陸前高田市を巡り、様々な場所の見学や地域の方からお話を伺いました。2018年度のテーマは「震災遺構の活用」でした。教授や地域の方々と議論する機会も多くあり、自身の考えがより深まりました。遺構についてだけでなく、それに関する人々の想いや物語について知ることができます。最終報告では、市内の遺構活用のコンセプトや、それに関わる団体等についても考え、発表し議論しました。



防災・まちづくりプログラム  
2018年入学

狩野夏穂



防災・まちづくりプログラム  
2018年入学

福田 祐子

私は東日本大震災時に、医療者として避難所の感染対策支援活動を経験しました。災害時の感染症対策がどのように行われたか、被災者側からの視点で検証し、今後の防災や支援活動に役立てたいと考え大学院に入学しました。

震災後、被災者の復興について調査・研究を継続してきた麦倉教授の下、避難所運営に関わってきた住民の方々へのインタビューやアンケート調査、防災訓練への参加などのフィールドワークを通じた研究を行っています。職場の協力を得て履修していますが、講師の方にも時間的なご配慮をいただいております。年代や分野の異なる学生、留学生とのグループワークも刺激になっており、日々学びを深めています。

## 在学生の声

### 地域防災研究センターとの連携について

当プログラムは、岩手大学地域防災研究センターとの連携により、一定の要件を満たせば、以下のことが可能になります。

- 地域防災研究センターの教員から、教育・研究・社会連携に関する情報を得ることができます。
- 地域防災研究センターの実施する企画・イベントに参加できます。
- 地域防災研究センターの教員の研究プロジェクトに参加できます。
- 「地域を支えるエコリーダー・防災リーダー育成プログラム」に参加できます。

## ■入試情報

入学者の選抜は、学力検査(プレゼンテーション試験)と書類審査の結果を総合して判定します(定員は若干名)。

第1期募集:毎年7月中旬 第2期募集:毎年12月上旬 入学時期:4月

4年生大学を卒業後一定期間(大学院入学時で3年以上)経過し、社会人として就労等の社会的経験を有している方他、一定の条件を満たせば1年制コースに出願できます。出願資格など、より詳しくは

<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/graduate/info.html> およびそこからダウンロードできる「学生募集要項」をご覧ください。



## ■検定料・入学金・授業料について

検定料/30,000円 入学金/282,000円 授業料/半期267,900円(年額535,800円)

※上記金額は2019年4月現在のもので変更となる場合があります。

問い合わせ先

岩手大学大学院総合科学研究科

〒020-8550 岩手県盛岡市上田3-18-8

TEL:019-621-6603 FAX:019-621-6066 E-mail:gsenko@iwate-u.ac.jp

総合科学研究科地域創生専攻  
ウェブサイト

<http://rim.iwate-u.ac.jp/>

